

○アンケート実施結果

庄内町学校適正規模・適正配置審議会では、庄内町立小学校及び中学校の適正規模及び適正配置に関する方針の策定について、答申するため、計3回のアンケートを実施しております。

概要につきましては、下記のとおりとなります。

1 町民、保護者、教員アンケートの概要及び結果

審議会での議論を充実させることを目的に令和4年6月に実施した本アンケートは、町民1,000人、保護者1,221人（保育園、認定こども園、幼稚園、小中学校）、及び教員140人の計2,361人を対象に実施し、1,455人（回収率61.6%）から回答をいただきました。

アンケートの主な問いに対する集計結果は、次のとおりです。

(1) あなたは町内の小・中学校に、特にどのような学習環境を望みますか。

「充実したコンピュータ等の ICT 設備」（594 人）、「多様な学びができる校舎設備」（592 人）、「思いっきり運動できる体育館やグラウンド」（480 人）の順となっています。

	町民	保護者	教員	合計	比率 (%)
全 体	576	1,886	207	2,669	100
(1) ゆとりある広さの教室環境	84	320	71	475	17.8
(2) 充実した図書環境	45	69	10	124	4.6
(3) 充実したコンピュータ等の ICT 設備	132	431	31	594	22.3
(4) 多様な学びができる校舎設備	124	421	47	592	22.2
(5) 安全で快適に過ごせる学習環境	104	264	36	404	15.1
(6) 思いっきり運動できる体育館やグラウンド	87	381	12	480	18.0

(2) 学校は学力を定着させる場であるとともに様々な学びの場でもあります。あなたは町内の小・中学校に、子どもの教育活動の場として特にどのようなことを望みますか。

「多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会」（1,065 人）、「学校と保護者・地域社会が連携した教育活動」（464 人）、「同学年多人数で広い人間関係の中で切磋琢磨できる場」（424 人）の順となっています。

	町民	保護者	教員	合計	比率 (%)
全 体	561	1,788	205	2,554	100
(1) 学校と保護者・地域社会が連携した教育活動	134	276	54	464	18.2

(2) 子どもの希望に合う部活動	64	286	9	359	14.1
(3) 同学年多人数で広い人間関係の中で切磋琢磨できる場	96	298	30	424	16.6
(4) 同学年少人数で深い人間関係を築ける場	47	173	22	242	9.5
(5) 多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会	220	755	90	1,065	41.7

(3) 小学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

「2学級」(970人)、「1学級」(206人)、「3学級」(173人)の順となっています。

	町民	保護者	教員	合計	比率(%)
全 体	318	1,022	115	1,455	100
(1) 1学級	49	155	2	206	14.2
(2) 2学級	189	708	73	970	66.7
(3) 3学級	43	97	33	173	11.9
(4) 4学級以上	20	24	4	48	3.3
不 明	17	38	3	58	4.0

(4) 中学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

「4学級以上」(794人)、「3学級」(289人)、「2学級」(244人)の順となっています。

	町民	保護者	教員	合計	比率(%)
全 体	318	1,022	115	1,455	100
(1) 1学級	14	34	0	48	3.3
(2) 2学級	75	156	13	244	16.8
(3) 3学級	64	184	41	289	19.9
(4) 4学級以上	141	599	54	794	54.6
不 明	24	49	7	80	5.5

(5) 小学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。

「30分未満」(1,001人)、「15分未満」(253人)、「45分未満」(155人)の順となっています。

	町民	保護者	教員	合計	比率(%)
全 体	318	1,022	115	1,455	100
(1) 15分未満	50	189	14	253	17.4
(2) 30分未満	211	704	86	1,001	68.8
(3) 45分未満	38	103	14	155	10.7
(4) 60分未満	11	16	0	27	1.9
(5) 60分以上	0	1	0	1	0.1
不 明	8	9	1	18	1.2

(6) 中学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。

「30分未満」(979人)、「45分未満」(273人)、「15分未満」(109人)の順となっています。

	町民	保護者	教員	合計	比率(%)
全 体	318	1,022	115	1,455	100
(1) 15分未満	16	88	5	109	7.5
(2) 30分未満	198	707	74	979	67.3
(3) 45分未満	67	177	29	273	18.8
(4) 60分未満	29	33	4	66	4.5
(5) 60分以上	1	4	0	5	0.3
不 明	7	13	3	23	1.6

(7) 【小学校】 少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めながら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があると思いますか。

「学校数を減らして、重点的に投資して建て替え」(1,068人、73.4%)、「小学校5校をすべて建て替え又は全面改修」(275人、18.9%)の順となっています。

		(1) 小学校 5校をすべて 建て替え又は 全面改修	(2) 学校数を 減らして、重点的 に投資して建て 替え	(3) その 他	不明	総計
全体		275	1,068	79	33	1,455
(比率%)		18.9	73.4	5.4	2.3	100
町民	第一学区	9	53	5		67
	第二学区	8	42	7	2	59
	第三学区	8	31	5	2	46
	第四学区	7	44	2		53
	狩川地区	4	45	5	1	55
	清川地区	2	15	3		20
	立谷沢地区		12		1	13
	学区地区不明	1	1	1	2	5
保護者	第一学区	58	184	7	7	256
	第二学区	40	168	6	4	218
	第三学区	55	160	10	4	229
	第四学区	36	111	7	3	157
	狩川地区	22	92	14	2	130
	清川地区	1	10	2		13
	立谷沢地区	1	8			9
	学区地区不明	1	8		1	10
教員	立川小	3	9	1		13
	余目一小	4	11	2		17
	余目二小	7	9			16
	余目三小	2	13	1		16
	余目四小	1	12			13
	立川中		11	1	2	14
	余目中	5	19		2	26

(8) 【中学校】 少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、財政の健全化を進めながら地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で学校整備を進める必要があると思いますか。

「学校数を減らして、重点的に投資して改修」(788人、54.2%)、「中学校2校をすべて改修」(545人、37.5%)の順となっています。

		(1) 中学校 2校をすべて 改修	(2) 学校数を 減らして、重点的 に投資して改修	(3) そ の他	不明	総計
全体		545	788	75	47	1,455
(比率%)		37.5	54.2	5.2	3.2	100
町民	第一学区	16	46	4	1	67
	第二学区	20	33	5	1	59
	第三学区	10	29	5	2	46
	第四学区	16	36	1		53
	狩川地区	18	32	4	1	55
	清川地区	9	9	2		20
	立谷沢地区	6	6		1	13
	学区地区不明	1	2	1	1	5
保護者	第一学区	100	141	8	7	256
	第二学区	67	137	8	6	218
	第三学区	87	121	11	10	229
	第四学区	68	77	4	8	157
	狩川地区	64	50	15	1	130
	清川地区	5	6	1	1	13
	立谷沢地区	5	3		1	9
	学区地区不明	2	7		1	10
教員	立川小	4	8		1	13
	余目一小	6	8		3	17
	余目二小	6	9	1		16
	余目三小	7	8	1		16
	余目四小	6	7			13
	立川中	7	4	3		14
	余目中	15	9	1	1	26

2 将来に向けた小学校整備のアンケートの概要及び結果 ①

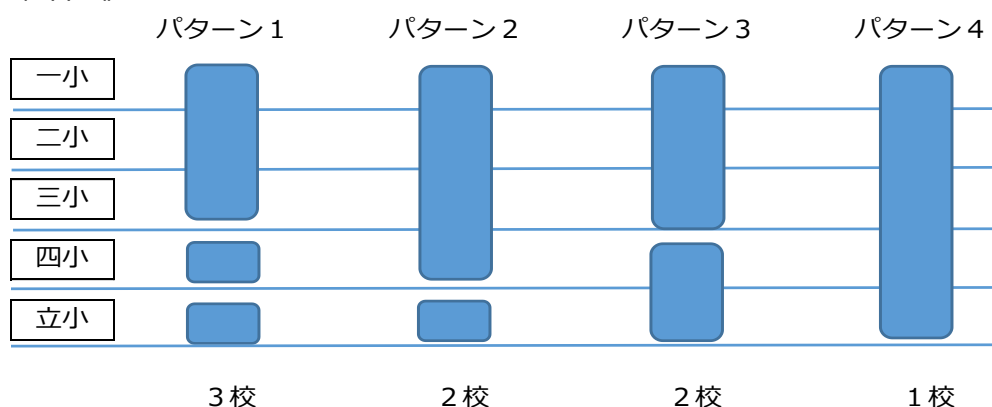
およそ10年後の小学校はどのような学校の組み合わせが望ましいか聞くことを目的に、令和5年9月に実施した保護者（保育園、認定こども園、幼稚園、小学校）アンケートには、保護者484人から回答をいただきました。集計結果は、次のとおりです。

全体ではパターン3の①（144人、29.8%）、パターン3の②（104人、21.5%）、パターン4（91人、18.8%）の順となっています。

地域別では、立川地域でパターン3の②（41人、57.7%）、余目一小学区でパターン3の①（59人、47.6%）、余目二小学区でパターン3の①（33人、28.0%）、余目三小学区でパターン3の①（33人、36.3%）、余目四小学区でパターン2（25人、31.3%）が最も多くなっています。

	パターン1		パターン2		パターン3の①		パターン3の②		パターン4		その他		回答者数
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
立川地域	4	5.6%	6	8.5%	5	7.0%	41	57.7%	14	19.7%	1	1.4%	71
（立谷沢）		(0.0%)		(0.0%)	(1)	(14.3%)	(3)	(42.9%)	(2)	(28.6%)	(1)	(14.3%)	(7)
（清川）		(0.0%)		(0.0%)	(1)	(50.0%)	(1)	(50.0%)		(0.0%)		(0.0%)	(2)
（狩川）	(4)	(6.5%)	(6)	(9.7%)	(3)	(4.8%)	(37)	(59.7%)	(12)	(19.4%)		(0.0%)	(62)
余目一小学区	14	11.3%	15	12.1%	59	47.6%	19	15.3%	15	12.1%	2	1.6%	124
余目二小学区	23	19.5%	13	11.0%	33	28.0%	19	16.1%	25	21.2%	5	4.2%	118
余目三小学区	12	13.2%	8	8.8%	33	36.3%	21	23.1%	15	16.5%	2	2.2%	91
余目四小学区	12	15.0%	25	31.3%	14	17.5%	4	5.0%	22	27.5%	3	3.8%	80
全体	65	13.4%	67	13.8%	144	29.8%	104	21.5%	91	18.8%	13	2.7%	484

《選択する組合せ》



- パターン1：余目一小、余目二小、余目三小は統合して1校とする。余目四小と立川小は、それぞれ1校とする。
- パターン2：余目一小、余目二小、余目三小、余目四小は統合して1校とする。立川小は、そのまま1校とする。
- パターン3の①：余目一小、余目二小、余目三小は統合して1校とする。余目四小と立川小は統合して1校とし、余目四小の校舎を使う。
- パターン3の②：余目一小、余目二小、余目三小は統合して1校とする。余目四小と立川小は統合して1校とし、立川小の校舎を使う。
- パターン4：町内5つの小学校を統合し1校とする。

3 将来に向けた小学校整備のアンケートの概要及び結果 ②

令和5年9月に実施したアンケートでは、審議会で検討している町内の中学校は1校という整備の方向性を示していなかったことや、保護者が選択したパターンの理由も回答いただいておらず、立川地域・余目四小学区の考え方を判断できませんでした。そこで、10月に立川地域・余目四小学区の保護者の考えを再確認することを目的に、0歳児以上小学生以下の子どもがいる世帯に改めてアンケートを実施し、保護者157人（回収率52.3%）から回答をいただきました。集計結果は、次のとおりです。

《集計結果》

立川地域ではパターン3の②（36人、46.8%）、パターン4（22人、28.6%）、余目四小学区では、パターン4（34人、42.5%）、パターン3の①（21人、26.3%）の順となっています。

	パターン1		パターン2		パターン3の①		パターン3の②		パターン4		その他		回答者数
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
立川地域	5	6.5%	5	6.5%	7	9.1%	36	46.8%	22	28.6%	2	2.6%	77
（立谷沢）	0	(0.0%)	0	(0.0%)	(1)	(20.0%)	(1)	(20.0%)	(2)	(40.0%)	(1)	(20.0%)	(5)
（清川）	0	(0.0%)	0	(0.0%)	(1)	(25.0%)	(2)	(50.0%)	(0)	(0.0%)	(1)	(25.0%)	(4)
（狩川）	(5)	(7.4%)	(5)	(7.4%)	(5)	(7.4%)	(33)	(48.5%)	(20)	(29.4%)	0	(0.0%)	(68)
余目四小学区	2	2.5%	16	20.0%	21	26.3%	5	6.3%	34	42.5%	2	2.5%	80
全体	7	4.5%	21	13.4%	28	17.8%	41	26.1%	56	35.7%	4	2.5%	157

《選択理由》

○立川地域

選択肢	パターン1	パターン2	パターン3の①	パターン3の②	パターン4	その他	計
<input type="checkbox"/> 少人数指導が受けられるから	1	2	2	6		1	12
<input type="checkbox"/> 将来的に中学校で一緒になるから	1	1		3	10		15
<input type="checkbox"/> 地域に根差した教育が受けられるから	1	3	1	8	2	1	16
<input type="checkbox"/> 学校までの距離や通学時間の面から	4	5	6	28		1	44
<input type="checkbox"/> クラス替えができるから	1	1		1	8		11
<input type="checkbox"/> クラス同士切磋琢磨できるから			3	5	15	1	24
<input type="checkbox"/> 子どもの教育環境の差がなくなるから				1	7	1	9
<input type="checkbox"/> 多様な活動ができるから	1	1		10	15		27
<input type="checkbox"/> PTA活動などで保護者の負担の軽減が見込まれるから	1	1		3	9		14
<input type="checkbox"/> 段階的な統合は効率的でないから	1				17		18
<input type="checkbox"/> その他	1			4	2	1	8

○余目四小学区

選択肢	パターン 1	パターン 2	パターン 3の①	パターン 3の②	パターン 4	その他	計
<input type="checkbox"/> 少人数指導が受けられるから	2		2		1		5
<input type="checkbox"/> 将来的に中学校で一緒になるから	1	14	5	1	18	1	40
<input type="checkbox"/> 地域に根差した教育が受けられるから		2	2	1	2		7
<input type="checkbox"/> 学校までの距離や通学時間の面から	1	2	17	5	3	1	29
<input type="checkbox"/> クラス替えができるから		5	2		11		18
<input type="checkbox"/> クラス同士切磋琢磨できるから		2		1	7	1	11
<input type="checkbox"/> 子どもの教育環境の差がなくなるから		4	1	2	16		23
<input type="checkbox"/> 多様な活動ができるから		5		2	9		16
<input type="checkbox"/> PTA活動などで保護者の負担の軽減が見込まれるから		3	2	1	8		14
<input type="checkbox"/> 段階的な統合は効率的でないから		4		1	20		25
<input type="checkbox"/> その他	1	1		1	2		5

《統合のタイミング》 ※パターン4以外を選んだ保護者

選択肢	立川地域	余目四小学区	計
<input type="checkbox"/> 複式学級になることが見込まれたとき	10	14	24
<input type="checkbox"/> 児童数が全体で60人以下（各学年で10人程度）	29	19	48
<input type="checkbox"/> 保護者から要望が出たとき	5	8	13
<input type="checkbox"/> その他	6	2	8